

## 令和4年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：札幌地区
- 2 事例報告学校名：札幌市立福住小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 中村 ちひろ
- 4 キーワード：地域とのつながりを大切にした教育活動

### 1 はじめに

本校は、今年度開校45年目を迎え、現在25学級（特別支援学級2を含む）、697名が在籍している。校区内には地下鉄福住駅を含み、近くには札幌ドームを望むことができる。明治4年に後の福住になる地に6軒の農家が入植してからの歴史を重ね、古くから地域を大切に発展させてきており、その流れは現在につながっている。

### 2 「つながり」を大切にした学校経営

令和4年度の学校経営重点テーマと目標は、「笑顔があふれ、あこがれを紡ぐ学校～つながりを大切にした教育活動の推進」である。学校教育の中で学ぶ力の育成、豊かな心の育成、そして健全な体の育成が実現できるよう計画・実行している。今年度は「つながり」をキーワードとし、学年・学級経営のみならず、校務分掌での計画等にも組み込みながら教育活動の推進を図っている。学校・家庭・地域との連携を構築しながら、お互いの役割を意識したつながりを目指している。



### 3 学校の特色を生かした教育活動

#### (1) 地域力を生かした組織的な活動

##### ① 福住こひつじネットとサタデースクール

本校には、学校開放運営委員会である「福住こひつじネット」と、札幌市で地域学校協働活動として行っている「サタデースクール」が存在している。どちらも学校・家庭・地域が一体となって福住地区の子どもたちの学びや成長を支える組織であり、町内会連合会や青少年育成会、学校評議員等が関わり、様々な企画を行ってきた。しかし、この2年余りは、新型コロナウイルス感染拡大防止という観点からほとんどの行事をやむなく中止とし、今年度になってから、感染症対策を講じながらできることに取り組み始めている。



##### ② 2つの組織の活動

福住こひつじネットでは、今年度「ふくずみふれあい音楽祭」を本校体育館で開催し、スクールバンドの演奏や開放図書ボランティアの方々で結成しているハンドベルの演奏、読み聞かせが行われ、多くの方が楽しむ機会となった。3学期には、教育ボランティアとして、スキー学習のお手伝いが予定されている。例年はサタデースクールとの共催で「雪中遊びの広場」を開催していた。



一方、サタデースクールでは、夏季休業中に「Let's なわとび」を開催し、異学年でのグループで、短縄や長縄に挑戦した。グループでの協力により記録が伸びるなど、充実感溢れる子どもたちの表情がたくさん見られた。また、「大豊作まつり」では、地域の方が育ててくれたジャガイモを収穫する活動を行った。今年度は密を避けるため5・6年生のみの募集となったが、土を掘ると大きなジャガイモが出てくる度に、喜びの声が上がっていた。

今年度より、サタデースクールの開催条件に変更があり、平日でも授業の一環として運用することができるようになった。そこで、6年生のKitaraファーストコンサートの事前学習として、札幌で活躍する音楽家を招き、世界の音楽演奏会を開催した。一緒にリズムを手拍子で打ったり、珍しいアフリカの太鼓を近くで見せてもらったりするなど、意欲的に音楽に関わろうとする姿が見られた。

他にも、1月に本校グラウンドで、「初歩のスキー講座」を予定している。

今後は、二つの組織の構成メンバーが重複していること、継承者の世代交代、教職員の働き方改革の問題等を改善するために、学校として組織改革を提案し、将来に向けて持続可能な組織づくりを行う予定である。



#### (2) 地域力を生かした交通安全・防犯・災害への意識

##### ① 子どもたちを見守る体制づくり

本校は、3車線の羊ヶ丘通を挟んでの校区ということや、住宅街が多くを占めているという特徴から、交通安全や防犯に対する意識の向上を目指している。

今年度の春に、交通指導員を羊ヶ丘通の横断歩道にお願いするとともに、スクールガードを保護者から募集したところ、十数名の方から応募があった。現在は、札幌市から支給されている帽子や腕章を身に着けて、朝の登校時に見守りをしてきている。途中で転んだ子を連れてきてくれたり、危険な場面を知らせてくれたりするなど、大変ありがたい存在である。



また、下校時の交通安全や防犯についての心配があったため、町内会連合会の会議に赴き、交通安全や防犯に対しての学校が抱えている悩みをお話したところ、すぐに、町内会の防犯部の方や青少年育成会の方からの提案があり、下校時に合わせた見守り活動を行ってくれることになった。このように、地域の方々の協力により、子どもたちの安心・安全が守られている。

##### ② セーフティフェスタへの参加

近隣のまちづくり協議会主催による、札幌ドームで開催される東月寒童夢セーフティフェスタに、本校4年生が総合的な学習の一環として参加している。自衛隊や消防署、警察署、病院や車を販売するお店など、複数の団体が体験型のブースを開設し、子どもたちに非常時の様々な体験活動をさせてくれる。自衛隊ブースでは、自衛隊車両の乗車体験や、野外炊具の見学、担架で運ばれる体験をさせてくれた。また、パトカーの見学、火車の際の煙体験、心臓マッサージ等、様々なジャンルの体験学習が行われ、子どもたちが自分の安全・安心について意識を高め、意欲的に学ぶ機会となっている。



### 4 おわりに

登校時、校区を巡回していると、地域の方から「昔、うちの子がお世話になりました。」と声を掛けられることがある。もう、何十年も前にお子さんが卒業していても、福住小学校での楽しい思い出を語ってくれることに、学校と家庭、そして地域の関係は、時間とともに色濃く記憶に蘇ってくるものなのだと感じた。

子どもたちの姿を見ては、挨拶をしてくれる方、仕事の合間を縫って、交差点に立ってくれる方、「子どもたちは、福住の宝です。」と言われる方。地域で学び、育てようとする方々が、これからの時代を支える子どもたちに寄せる期待は大きい。今後も地域力を生かし、つながりを大切にするにより、子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進に努めていきたい。